

ノブキ (キク科)



中心部の両性花は大部分落ちて雌花の子房がふくらんで実になっています。



周辺部の花は雌花で、
中心部の花は両性花

10月に見られる花

葉がフキに似ているのでノブキと名付けられています。こもれびの森では遊歩道沿いに多数見られますが、花が小さいので目立ちません。拡大して見ると、花が多数集まって咲いているのがわかります。周辺部の花は雌花で、中心部の花は両性花です。実を結ぶのは雌花です。花期が比較的長く、一つの株で蕾から花、実になる途中、実などいろいろな状態が観察できます。

リンドウ・フジバカマ・イヌタデ・ノダケ・ゲンノショウコ・オケラ・カシワバハグマ・コウヤボウキなど。

